

TOPICS

[Vol.36]

インプラント(人工歯根)治療とは?

歯科口腔外科 西川 正典

インプラント治療とは?

従来、歯の欠損の治療法は義歯(=入れ歯、取り外し式 図1-a)、ブリッジ(固定式 図1-b)のいずれかでした。義歯は違和感が強く、安定性が悪いと十分咬むことが出来ません。また、



◀図1-a
義歯(入れ歯・取り外し式)



図1-b▶
ブリッジ(固定式)

合っていない義歯を長期間使用すると、周囲の歯がいたみ、あごの骨の吸収が起こります。ブリッジは違和感が少なく、よく咬むことが出来ます。しかし、前後の健康な歯を削って欠損部を支えるため、支えている前後の歯が徐々にいたんでくる場合があります。

もしそうなった場合、前後の歯まで失うことになる可能性があります。

インプラント治療(図1-c)とはチタン製の人工歯根(インプラント体)



◀図1-c
インプラント治療

をあごの骨のなかに埋め込み、その上に、人工歯冠の支台(アバットメント)と人工歯冠を装着し、虫歯、歯周病、事故などによる歯の欠損を回復する治療法です(図2)。インプラント治療はあごの骨の中に埋め込んだインプラント体で人工歯冠を支えるため、前後の歯にはまったく負担をかけません。また違和感がほとんどなく、咬む力がそのまま骨にも伝わるため、自分の歯と同じような感覚で咬むことが出来ます。インプラント治療は義歯、ブリッジの欠点を克服した画期的な治療法です。

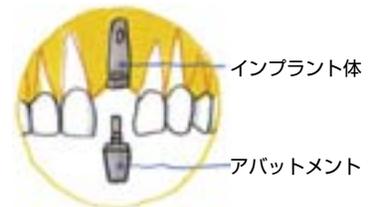


図2



インプラント治療の対象は?

インプラント治療はあらゆる歯の欠損が対象です。部分的な歯の欠損に対しては基本的に欠損した歯と同じ数のインプラント体をあごの骨に埋め込み、その上にアバットメントと人工歯冠を装着します(図3-a)。天然の歯冠と同じ色調で作られた人工歯冠を装着すると見た目には天然の歯冠と全く区別はつきません。そのため、咬み合わせの回復のみならず、審美性の回復もできます。

全ての歯が抜けてしまった場合には、3~4本のインプラント体を埋め込み、そのインプラント体で義歯を支

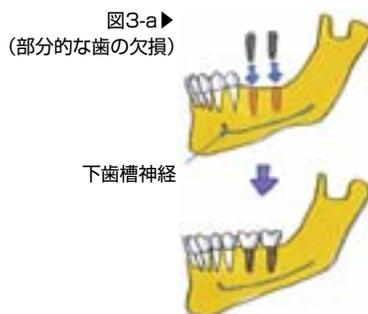
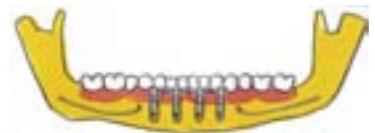


図3-a▶
(部分的な歯の欠損)

下歯槽神経

える「インプラント義歯」という方法があります(図3-b)。この「インプラント義歯」は通常の義歯(=総入れ歯)と異なり、インプラント体で義歯を支えるため、義歯は全く動かず、非

常に良く咬むことが出来ます。あごの骨がやせて何回作り直しても義歯が合わない方には最適の治療法です。本院は、この「インプラント義歯」について高度先進医療の認定を受けております。



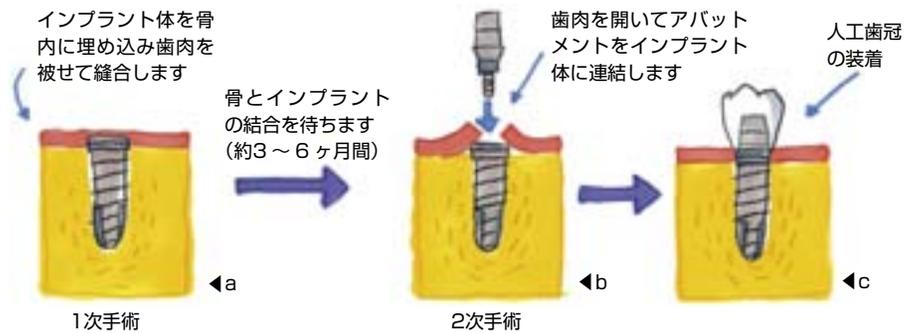
▲図3-b
(全ての歯が抜けてしまった場合)
インプラント義歯

インプラントに取り付けたバーは、総入れ歯の内面に固定され安定した咬む力を発揮します

実際の治療は？

まず、インプラント体を埋め込むために必要な骨があるかどうか、血管や神経にさわることなくインプラント体を埋め込むことができるかどうかの確認をすることが必要です。この確認をしないままインプラント治療を行った場合、出血、神経麻痺などの合併症が起こる可能性があります。当院ではCTを撮影し、パソコン上で専用ソフトを用いて、あごの骨の状態（幅、高さ、骨密度など）、あごの骨の中にあ

る血管や神経の位置の確認をミリ単位で行うため、安心して手術を受けていた



▲図4 インプラント治療の流れ

だくことができます。

診査の結果、骨が十分ある場合は、局所麻酔下で歯肉を切開し、骨に専用のドリルで穴を開け、インプラント体を埋め込み、歯肉を縫合します（1次手術 図4-a）。インプラント体を埋め込む手術を行った後、インプラント体が骨と強固にくっつくまで、骨の状態により約3～6ヶ月間待ちます。その後、歯肉に穴を開け、インプラント体の上部を露出させ（2次手術）、アバットメントと人工歯冠（図4-b、c）を装着します。

あごがやせて骨が少なくなっている

場合は、そのままではインプラント体を埋め込むことができないため、骨の移植が必要になります。少量の骨の移植ならば局所麻酔下で手術可能ですが、多量の骨の移植が必要な場合は全身麻酔下で手術を行うこともあります。あごの骨の状態（幅、高さ、骨密度など）により骨の移植とインプラント体の埋め込みを同時に行う場合と骨の移植を先に行ってから、数ヶ月先にインプラント体の埋め込みを行う場合とがあります。本院では、このように骨移植を伴うインプラント治療も多く行っております。

費用は？

インプラント治療は健康保険の適応外です。そのため治療費は全額自己負担となります。埋め込むインプラント体の本数によってかわりますが、1本あたり約23～28万円（手術費を含む）です。その他、検査費、レントゲン代、薬代などが必要になります。また、骨移植を行う場合は別途料金が必要

です。CT撮影とパソコンによるあごの骨の分析が必要な場合には約5万円必要です。（どちらも平成17年12月現在の料金設定 今後改訂の可能性ががあります。）このようにインプラント治療は高額ですが、実際、インプラント治療を受けた方は、もともとあった自分の歯のようによく物が咬めると

喜んでおられます。インプラント治療は特に義歯、ブリッジでうまく咬めない方にお勧めできる治療法です。



滋賀医科大学医学部附属病院 理念

「信頼と満足を追求する全人的医療」

滋賀医大病院ニュース第9号別冊 編集・発行：滋賀医科大学広報委員会
〒520-2192 大津市瀬田月輪町
TEL：077(548)2012(企画調整室)
過去のTOPICS(PDF版)はホームページでご覧いただけます。

●理念を実現するための基本方針

- 患者さま本位の医療を実践します
- 信頼・安心・満足を与える病院を目指します
- あたたかい心で最先端の医療を提供します
- 地域に密着した大学病院を目指します
- 世界に通用する医療人を育成します
- 健全な病院経営を目指します